

2017/4/24

(日々雑感 87)



今ふと思ったんですが、朝鮮半島の北の国の刈り上げ太っちょ君が、ミサイルを発射してその直後に爆発した。にもかかわらず発射責任者は処罰された形跡がない。

是が何故なのかずーっと疑問に思っていたのですが、これはひょっとしてトランプ③に対するメッセージではなく、習近平さんに対するメッセージだったのではないだろうか？もったのです。

あの太っちょ君は既に「行く先の自分の国の姿」が見えていた。つまり、いずれ国は崩壊し、自分は血祭りに上げられる。それが分かっていた。

それで、無茶ぶりを発揮して「俺をなんとかしろ。亡命させろ」と習近平にメッセージを送った。あのミサイルで。爆発はもちろんわざとです。アメリカや日本に打ち込んだらそれこそアウトだからです。

引き替えに習近平さんは太っちょ君から中国「北の国支部」を手に入れる約束を取り付ける。それで商売成立。win-win で二人ともにつこり。

ミサイルが飛んでくる、飛んでくると言いましたが、今の時点では、僕の観測では飛んでこない方の確率が上がっている気がします。

今、まさに、トランプさんではなく、習近平さんの手中に我が国の命は握られている気がしてなりません。